

令和 諏訪形 かわら版

第25号
諏訪形自治会
会長山越敏雄

諏訪形公民館主催

諏訪形夏祭り(ゲーム大会・夕涼み会)が

盛大に行われました

今年も猛暑が続いている中、八月十四日(水)に「諏訪形夏祭り」が行われました。昨年に続いてお盆中の開催となり、たくさんのお子さんや自治会員の皆さんにご参加いただき、午前はゲーム大会、夕方には夕涼み会を行いました。

ゲーム大会では小中PTA諏訪形支部、育成会から十一人の皆さん、夕涼み会では自治会役員と分館協力員十三人の皆さんにご協力いただきました。昼夜通しての作業となった分館役員の皆さん、実行委員会からご参加いただいた協力員の西條和男さん、柳澤公一さん、稲垣敦史さん、稲垣美恵さん、プロパンガスの手配や交通整理、フランクフルトの販売までやっていただいた大平英明協力員ほかたくさんの方々にご支援いただきました。そして、当日盛り上げてくれた子どもたちやご参加いただいた皆さんに感謝申し上げます。また、夏祭り開催に際して信濃合金様から麦茶三箱、神田勲様から清酒、準備作業中には玉木晶子様から激励の飲み物とお花をいただきました。温かいご支援、ありがとうございました。

以下、夏祭りのエピソードをいくつか挙げてみます。



・実行委員会ではゲーム大会の内容について積極的な提案があり、委員の皆さんにそれぞれの役割をしっかりと果たしていただきました。当初考えていた輪投げ、ストライクラインに代わって、小林美紀さんからスイカ割りの提案があり、三木恵利香さん、佐々木多恵子さんを加えた三人にすべてお任せしました。その結果、夏らしい風情のあるブースができました。抽選会などの景品は加藤千恵さんが、子どもたちの菓子などは稲垣諒彦さんがすべて手配してくれました。

・夕涼み会ではオーストラリアからブリス、フランスからヤンが参加し、国際色豊かな屋台となりました。ふたりとももちろん初めての体験でしたが、焼き鳥を手際よく焼いていました。懇親会では北沢武司さんや柳澤公一さんとも仲良くなり、すっかり「諏訪形の住人」となっていました。



・初めての試みとして、飲食の引換券を一枚五十円で販売しました。それほど多くは必要ないだろう、ということですが、たいへんな売れ行きとなり、準備どころかまったく足りなくなりました。稲垣諒彦計部長が何回も各ブースを走り回って引換券を回収しなくてはならなくなっていました。多くの皆さんのご参加いただき、約六万五千円という予想以上の売り上げとなりました。ご参加いただいた皆さん、たいへんありがとうございました。

投稿：諏訪形公民館長 稲垣康史さん

日ごろの成果を競う

グラウンドゴルフ同好会 上期大会

が開催されました

七月十九日(金)に諏訪形グラウンドゴルフ同好会による上期大会が、昨年新しく作られた千曲川河川敷第二グラウンドで行われました。

当日は、都合のつかない方を除く十二名で三名ずつ四組に分かれ熱戦を繰り広げました。ホールインワンが出るたび歓声が上ります。ハホールを四回まわってその合計点で競います。最少得点で上がった人が優勝です。ホールインワンの場合は、得点から三点を引きます。

当同好会には御所の方が二名加入しておられ、今回は御所の市川さんが見事栄冠を勝ち取りました。成績は次のとおりです(敬称略)。



大会終了後、皆で記念撮影をして健闘をたたえ合いました。

- | | |
|--------|--------|
| ①市川都実子 | ⑧木内 一夫 |
| ②中村十四子 | ⑨浅野 五江 |
| ③林 慧子 | ⑩大林 正樹 |
| ④谷川 重子 | ⑪川島 育則 |
| ⑤宮下 修身 | ⑫金井 保芳 |
| ⑥岩下 秀子 | |
| ⑦小林 輝雄 | |



優勝した市川都実子さん(中央)。右はトロフィーを渡す人林副会長。

当同好会では、毎週金曜日午前中この千曲川河川敷第二グラウンドで例会を行っています。また、九月二十八日(土)には体験会を開催します。皆さん、ふるってご参加ください。

投稿：諏訪形グラウンドゴルフ同好会会長 金井保芳さん

諏訪形誌活用委員会主催

ウォーキングイベントがありました

七月二十八日(日)、活動が四年目となった諏訪形誌活用委員会主催で第十四回のウォーキングイベントが行われました。今回は、須川地区の散策で前回行かなかった場所を回り、その後、小牧山の頂上をめざしました。今回も講師は諏訪形誌活用委員会顧問の北沢伴康さんをお願いしました。

記録的とも言われる強烈な暑さが続く中でしたが、諏訪形の皆さんと、須川地区からご参加いただいた皆さん、二人の子どもたちも含めて二十五人の皆さんにご参加いただきました。須川は諏訪形と比べてだいぶ標高が高いこともあって、(日向はともかく)ちよつと木陰に入ると吹き抜ける風も爽やかに感じられました。

朝八時、「健脚チーム」の皆さんは諏訪形公民館に(時間前に!)集合し、旧道を通って須川をめざしました。須川公民館で「一般コース」の皆さんや須川の皆さんと合流し、須川地区の歴史について北沢さんからお話を伺った後、伊勢神社へ向かいました。「番所跡」や「観応の擾乱の古戦場」についても北沢さんからお話を伺い、「女学生が開拓した農園跡」を経て、小牧山の山頂に立ちました。ハイキングコースは須川自治会の皆さんが手入れしてくださっており、快適に歩くことができました。

ご参加いただいた皆さんからは次のような感想をいただきました。

・すでに三十℃近くになった朝八時前に公民館出発。無事須川公民館で皆さんと合流できてほっとしました。須川自治会の皆さんにはいろいろな気遣いしていただきありがとうございます。女学生たちが苦勞して積み上げられた石垣に我々は座って、休ませてもらいました。



・須川は子どもたちのころからよく知っているつもりでしたが、今回参加して、女学生が開墾した畑の跡など、今まで知らなかった須川が発見できました。

・周りの山には行っているのに、一番身近な小牧山に行っていないのが心残りです。このイベントを楽しみにしていました。朝八時、諏訪形公民館を出発、昔の須川の皆さんはこの道を本通りとして使っていたのかと思うと、歩きが楽しくなりました。帰りは慣れて楽しんでいました。

今回のイベントは手塚自治会長さんをはじめ、須川の皆さんのご協力をいただいて実施することができました。ありがとうございます。なお次回、九月下旬に「石尊山(三本松)から諏訪形・上田を眺める(仮)」を予定しています。たくさんの方のご参加をお待ちしています。



W-i-f-iを使った講座

「諏訪形シニアクラブかてりやの会」では、公民館にwifi（スマートフォンなどを無線でインターネットに接続するシステム）が設置されたことから、これを使った講座を行いました。以前にご紹介した、七月十日の「スマホカフェ」に続いて、七月二十五日には「健康体操」と「諏訪形誌を学ぶ」を実施し、十七名の皆さんにご参加いただきました。

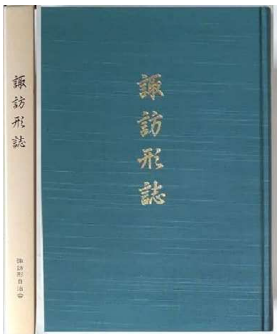


「健康体操」では、椅子に腰かけてできる高齢者向けの運動不足解消体操を、テレビ画面から流れるインストラクターの声や動作に従って

- ①上半身体操
- ②猫背予防体操
- ③腰痛予防体操
- ④お尻浮かし体操
- ⑤上半身のストレッツ
- ⑥足の筋力体操

等を休まず二十分間続けました。かなりきつかったです。一緒に体操をした城下地域包括支援センターの水上所長は、「テレビを使った新しい形の体操で、私たちも今後この方式を採用してみたい」と話してくれました。一方「インストラクターの先生とのコミュニケーションができないので寂しい」との声もありました。これからも体操の内容を吟味し、試行錯誤しながら実施したいと思っています。

「諏訪形誌を学ぶ」ではまず、『諏訪形誌』をパソコンやスマホで検索できる方法の説明がありました。最近検索する人が多いので、長いアドレス名を入力しなくても「上田市諏訪形誌」と入力すれば検索できる、と裏技も教えてくれました。『諏訪形誌』一冊が全て入っていると聞き、製作者には頭が下がる思いでした。



諏訪形誌を見た諏訪形以外の地区でも関心が高く、少しでも諏訪形を応援しようと活動している「ナチュラリストクラブ・うえだ」の皆さんがYouTubeに投稿した動画「諏訪形・石尊山の展望復活」と「石尊山と権現山」の二作品を見ることができました。いずれも素晴らしい作品でした。

諏訪形誌発行委員会では、諏訪形誌発行以来これを活用すべく「諏訪形誌活用委員会」を結成し、四年間で十五回のイベントを開催しており、いつも大勢の参加者があると説明がありました。講師をしていただいた柳澤公一委員長は「この素晴らしい諏訪形をさらに住みよい、明るい地区とするために頑張る」と決意を話してくれました。

暑い中、講座に参加し、熱心に体操と聴講をしていただいた会員の皆さん、本当にありがとうございました。

投稿.. 諏訪形シニアクラブかてりやの会 会長 大林正樹さん

七月三十日（火）、諏訪形社会福祉協議会の主催で「七月のふれあいお茶会」が開催されました。猛暑が続く中、この日は珍しく曇り・小雨模様でやや過ごしやすくなりました。当日は山越自治会長、稲垣公民館長はじめ、二十人以上の皆さんにご参加いただきました。

静かな音楽が流れる中、社会福祉協議会の皆さんに準備していただいたお茶とお菓子をいただきますながら、ゆっくりと思い思いにおしゃべりをする時間が取れました。コロナの流行がたいへんだったころには考えられないような、和やかな日常が戻ってきた感じです。

西條社会福祉協議会長のお話では、本年はこのあと、八月、九月、十月にも同様の催しを行う予定で、回覧でお知らせすること。今回は圧倒的に女性の皆さんのご参加が多かったのですが、男性の皆さんもぜひお出かけください。

四中諏訪形地区生徒会・PTA諏訪形支部が清掃活動

夏の夜空を彩る上田の花火大会、諏訪形は間近で見ることができ、迫力満点でしたね。



さてその翌朝、関係する自治会、市や商工会議所の職員、協力事業所などの方々が、堤防を中心に清掃活動をしていることが、ご存知の方も多いと思います。諏訪形では、四中PTA諏訪形支部の生徒や役員の皆さんが毎年清掃活動に参加していることはご存知でしょうか。今年も生徒、役員の皆さん三十八名が朝六時に諏訪形グラウンドに集合し、堤防道路を中心にごみなどを拾い集めました。

夜の間激しい雨が降り、その雨が残っている中でしたが、諏訪形グラウンドから小牧側と上田橋側の二手に分かれて約三十分間作業を行いました。

四中PTA諏訪形支部の佐々木多恵子支部長のコメントです。


少しでも地域の皆様にご恩をお返しできるよう、毎年行っております。今後も、いろいろな地域貢献に取り組んでいかねば、と思います。

投稿 .. 諏訪形公民館長 稲垣康史さん



前号の「かわら版」では伊那市諏訪形から贈られた「お宝」を紹介しましたが、それ以外にも諏訪形公民館にはいろいろな「お宝」があります。公民館に立ち寄られた際は、ちょっと目を向けてみてください。

玄関から入った正面、西大広間南側の壁には依田行舟先生の刻字作品「周山盡紅葉」が飾られています。依田先生は一九三八（昭和十三）年小諸市生まれ。長野県下の公立高等学校でお仕事をされながら長野県書道展審査会員、日本刻字協合理事、毎日書道展審査会員などを歴任された方です。



依田行舟先生



信濃の國は一州、現建の國にして、得仰う山はや高き流る川は、や達し、松本伊那佐々善光寺四の平に沢尻の地
海こそなり物たるに萬すまの事なりと四方、響く山名御救來鞍駒山岳淺河に珠に活火山なり此國の鎮のなり
流れ渡ます伊那川北に犀川、西に南に木曾川、天龍川、永年川の國、打なり、細きなり、細きなり、細きなり
民の分ぎも豊かぬ五穀の粟から田畑にあひみず桑といふ登銅の國、なかり、細きなり、細きなり、細きなり
尋ねなきは、國王や旅のやうの寢寛床木曾の機かけ世としゆけ久平路橋なる人多き筑摩、諸君より懸くなり
しるさ名所と風雅士詩歌詠誦えん久旭將軍義仲も仁頼の五郎盛徳も春香太宰先生も衆山侯之間も昔の國の
人にて文武の藝たなく山と聲えよ世に仰き川と流れり名を盡す吾妻はやし日本吹雪給し碓氷山穿隧道千六
夢にもゆる汽車の道みな節に管かなば昔の人お方へさ古来山河の秀なるこの國は偉人のあむ習い

宇野浩二

大広間の東側には「信濃の国（右の写真）」、北側

（上の写真）が飾られています。

これらは書家、篆刻家両角閑堂先生の作品です。また、和室北壁の額「衆心城を成す（下の写真）」は、新公民館完成時にお祝いとしていただいたものです。

たいたものです

両角先生は日本書道教育学会師範、香墨会会長、読売書法展会友、県書道協合理事などを歴任されておられ、諏訪形の書道クラブは四十年近くにわたって先生にご指導いただいています。また、『諏訪形誌』『諏訪形公民館のあゆみ』の題字も先生にお願いしたものです。

先生は「上手に書く」という意識があると字が硬くなる。今日習ったことは忘れて、日々新たな気持ちで取り組むことが大切。「原点に返れ」と常に自分自身に言い聞かせています」と話しておられます（東信ジャーナルブログより引用）。

なお、この記事の作成に当たっては大林正樹さんと諏訪形書道クラブの宮下範子さんからアドバイスをいただきました。ありがとうございました。





大会終了後、皆で記念撮影をして健闘をたたえ合いました。